

【X運用の心得】

稼げるかどうかすごく重要な話となります。

●Xのみの運用の場合は収益化目安は3か月

私の体験では、最初の3か月はフォロワーを伸ばすことに専念して4か月目のアフィリエイト開始時に収益化をしました。

(アカウント運用数は3つです)

TikTokなど別のSNSも使いたい場合は同時並行でOKです。

TikTokなしでXだけで収益化したい場合だと、フォロワーがいない状態でアフィリエイトをすぐに開始する人が多く、これだと「なかなか稼げない」という状態に陥りモチベは下がり挫折します。

Xだけで運用するなら「初めから稼ごうとしない」この心得が結構大事だったりします。

3か月くらいは収益のことを考えるより”人を集める事”を考えてみましょう。

その方が収益のことばかり気にしなくなるため運用も長続きします。

もしすでにアカウントを持っていてアフィリエイトしている場合は、その運用でうまくいってるかどうかを考えるきっかけになると嬉しいです。

毎日のようにXで案件を投稿しているのに売れない場合は一度ストップしてみるのもいいですね。

売るのをやめることで別のことに時間を使えるので投稿の質を上げられます。

またフォロワーがいないアカウントは運用の仕方次第でメリット・デメリットがあります。

●アフィリエイトしない(売らない)メリット

①凍結しにくい

→フォロワーを増やすことだけに専念すれば外部誘導が少ないため凍結しにくいです。

またフォロワー数が多いとX内がそれだけ盛り上がるのでX社にとって有利なため、フォロワーを付けていくこと自体が凍結のリスク減少となります。

②将来的に売れやすい

→フォロワーを多く付けていけばユーザーにアフィリエイト投稿が知らされるので売り上げが出やすくなります。

●アフィリエイトした場合のデメリット

①フォロワーが逃げやすい

→離脱率でアカウント評価が下がってる可能性がある(これはまだわからないですがあり得ます)

②フォロワーが増えにくい

→どうしても業者感が出るため「フォローしよう!」という気持ちが薄れる。

③凍結しやすい

→外部誘導になるためリプに貼っていても必ずしも安全とは言えないです。特にフォロワーが少ないときはX社にとってメリットがないので凍結対象にしやすいです。

最低 1000 人フォロワーがつけばXでアフィリエイトしても凍結はしにくくなります。私のアカウントの中でフォロワー3000人くらいアカウントがありますが、それでも毎日5~10投稿してもまったく凍結しないです。

TikTokとか使わず自発フォロー（自らフォロー）だけでもフォロワー数1000人到達はそれほど難しくありません。

1000人ほどフォロワーが付けば収益も出やすくなります。

ジャンルを絞らずにオールマイティに動画をあげていてもファンはつきにくくなります。特化した場合でも画質が悪かったりそそられない動画を多く上げてもつきにくいです。

大事なのは「人をしっかり呼ぶこと」です。

売ろう売ろうとし過ぎてやみくもに低クオリティの動画を連投しても再生が取れないため稼げません。

「売ろうとしないこと」「視聴者を満足させること」「誰かのために投稿すること」

これらを心がけてる人は稼げています。

私もそうでしたがネットビジネスに取り組むときって自分の利益ばかり気にしちゃうんですよね。

でもそれは逆効果であることが現在ではハッキリしています。実は副業初心者はこの事実気づいていない人が多いので稼げずやめていきます。

TikTokは早めの収益化を狙えますが、最初は稼ごうとしないで人を集めることが最優先だと考えてください。

いろんな方の運用を見てきて「本当に稼ぐなら」という芯の部分は何かを改めてお伝え致しました。

私自身もこの”根本”は忘れがちなので、自分にも言い聞かせています。

- ・ Xだけで運用するならフォロワーを伸ばすことに専念する
- ・ TikTokを使うなら利益のことより視聴者を満足させる投稿を心がける

この2つが分かっているだけでも成功へ近づけます。

以上を踏まえて実践していきましょう。

●ラベルについて

最近ではXでアダルト運用しているとラベルを運営側に付けられることがあります。

ラベルについての詳細はこちら→[ラベル解説](#)

補足：

資料にラベル対策が書いてありますが、それでもラベルが付くことがあります。

エロ投稿がバズったときとか特にそうです。

初期段階からポストをバズらせるのも実は考え物です。

多くの人はラベルが付くと「もうアカウントの終わり」と嘆く人がいますが、私はそう思っていないです。

実際にラベルが付いたアカウントでも 1000 いいねや 2000 いいね取ることがあります。

フォロワーも伸びますし収益も発生します。

これは拡散力のあるフォロワーさんを付けているのが背景としてあります。

投稿したものをフォロワーさんがリポストしてくれることで新規ユーザーに拡散されます。

なので「ラベルが付いたアカウントを捨てるかどうかはフォロワー数で判断する」ことになります。

フォロワーが 50 くらいしかいないのにラベルが付いてしまったら捨てるのも視野に入れていいでしょう。

逆に 1000 人くらいフォロワーが付いてるならラベルが付いても収益は出せていきます。

ラベルはあくまで「制限」なので、X側がアカウントを潰しにかかっているわけではありません。

ラベルは「本当にアダルトを求めている人だけに届ける措置」なのでアカウントは死ぬことはないです。

ただラベルが付くとリーチが制限されることも事実なので、設定忘れや bot のような高頻度運用はできるだけ避けるようにしてラベル判定は極力避けていけるように運用するといいです。

ヤマト